

9/11(土)まじど！倫理号です。また、村らしくなりました。

今回の倫理は、いつでもどこでもある会話です。  
正直でいい。又身なりいい。

辛也 星 正 一 鳥

2021.9.11~9.17

今週の

倫理

9月のテーマ | 問題意識の活用

1246号

「正直に生きる」など「正直」とは、昔から尊ばれてきた徳目の一つです。嘘や偽り、飾りのない言動、言葉と行動が一致していることを「正直」といいます。歴史を紐解いても、嘘をつくことは不徳と戒められてきました。モーセの「十戒」、「論語」や仏典においても嘘に対する戒めが記されています。逆に言う人間は、嘘をつきやすい生き物なのかもしれません。

先日、大阪府堺市中区倫理法人会で行なわれた経営者モーニングセミナー（以下MS）で、システム開発の会社を営む経営者が登壇し、講師を務めました。

「厳しい経済状況で会社が今までで一番苦しい。どんな仕事でもやりたい。仕事が欲しくてたまらない」と率直に語りました。

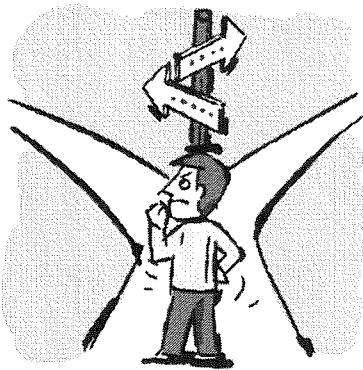
MS後の感想シェア会では、一人のベテラン経営者から以下のように言われました。

『仕事がない』と言える人は信頼できる。普通は、自分を大きくみせて、仕事がなくとも有るかのように見せたがるが、あなたのように大勢の前でここまで弱音を吐ける人はあまりいない。本当に素晴らしい」

その感想を隣で聞いていた、大阪府堺市で産業機械の設計・製造・販売を行なうM氏は、「正直でいる」と自身にアドバイスしてくれているように感じたといいます。

コロナ禍の影響で、会社の売上が減少しながらも、倫理法人会では各地域で講師を務めていましたが、M氏自身も「自分を大きく見せよう」としていたのです。

昨今では、設備投資を控える会社が増え、



## 素直に答えを求める心が 打開の応援者を呼ぶ

M氏の工場は稼働せず、数件の見積依頼が届くだけの状況だったのです。しかし、シェア会でのベテラン経営者の言葉をヒントに、「改めていこう」と決意したのです。

交渉中の数百万円規模の仕事を、金額を下げて見積書を作成し、取引先に送ることにしたのです。すると取引先の代表から「なぜそんなに安くなったのですか」と問われました。M氏は正直に「会社が厳しく、仕事を頂きたく見直させていただきました。どうか助けてください」と伝えました。

すると先方は、「何で早く言ってくれなかったんだ。最初の価格で取引しよう」と言い交渉が進み、さらには、新商品開発の相談があり、別の受注へとつながったのでした。最終的にはその取引先からは、一千万円以上の仕事を依頼されることとなり、危機的状況を脱することができたのです。

昔の人は天を父、地を母とよんだ。父母はその子の求めには、何物をも惜しまず与える。与えられるのは、ま心からこれを求めないからである。

『万人幸福の栞』  
正直という徳目の根本は、無私無欲の「まこと」の心にほかなりません。

私欲が強いがために、他人を偽って利益を得ようとし、自分を守って嘘をつくようでは、問題解決のヒントはどこからも得られません。自分に正直に、澄んだ心で問題がどこからくるのか追及していきましょう。そのためにも、毎週のMSで自身に磨きをかけてみてはいかがでしょうか。